2025 年 11 月 5 日

胸部悪性腫瘍手術における術後合併症因子、治療効果及び予後に関わる因子の検討

◆研究の目的と概要◆

当院では、胸部悪性疾患手術における周術期合併症原因因子の解析、術前因子と予後との関連を調べています。本研究では、術後の合併症・術死の減少や外科治療による根治を目指し、今後のよりよい診療を行うことを目的としています。

◆対象となる患者さん◆

2010 年 4 月～2024 年 12 月までの間に、当院で胸部悪性疾患に対し外科治療された方。

◆研究に使用される情報◆

① 術前因子

・年齢・性別・手術対象疾患名・身長・体重・体表面積・Performance status(PS)

・循環器・呼吸器・脳血管・消化器・腎・精神疾患などの並存疾患や既往歴（手術歴も含む）

・内服薬（抗凝固剤・ステロイド・免疫抑制剤・抗がん剤など）

・喫煙歴・飲酒歴

・血液データ

血算（白血球数、白血球分画（好中球、好酸球、好塩基球、リンパ球、単球）、血小板数、赤血球数、ヘモグロビン、ヘマトクリット）、生化学検査（総タンパク、アルブミン、総ビリルビン、AST、ALT、LDH、ALP、BUN、血清クレアチニン、Na、K、Cl、Ca など）、腫瘍マーカー（CEA、シフラなど）、血液ガスデータなど

・呼吸機能データ

・心電図・心エコー検査

・胸部 CT・MRI・PET 検査（腫瘍径を含めた所見）

など上記術前検査を収集項目とします。

② 手術因子

麻酔方法（使用麻酔薬・硬膜外麻酔の有無・鎮痛方法など）

術式・手術時間・麻酔時間・アプローチ・出血量・輸血など血液製剤の使用有無など

③ 術後因子

術後疼痛スケール・胸腔ドレーン留置期間・術後合併症・入院期間など

④ 術後病理因子

組織型・亜型・リンパ節転移・免疫染色・遺伝子変異など、治療効果判定など病理報告

書で得られる情報

⑤ 予後

術後観察時（術後５年以上）における対象疾患の再発の有無・死亡の転帰などカルテ上から得られる情報

◆試料・情報の研究利用開始日◆

2021 年９月 14 日以降

◆研究方法◆

本研究は過去の診療録（カルテ）等からの情報を利用します。

＊　研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる情報は利用しません。

＊ 本研究に関するお問い合わせや、カルテ情報の利用についてご了承いただけない場合、以下の問い合せ先までメールでご連絡ください。

【問い合せ先】

公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構　倉敷中央病院
呼吸器外科　研究責任者　高橋 鮎子
E-mail：　kenkyu★kchnet.or.jp（臨床研究センター）
（★を@に変換してください）

この研究課題で利用する残余検体・診療情報等の利用については、医の倫理委員会によって「社会的に重要性が高い研究である」等の特段の理由が認められ、実施についての承認が得られています。

※【問い合わせ先】では、次の事項について受け付けています。

- 研究計画書および研究の方法に関する資料の閲覧（又は入手）ならびにその方法
  （他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内に限られます。）
- 研究対象者の個人情報についての開示およびその手続
- 研究対象者の個人情報についての利用目的の通知
- 研究対象者の個人情報の開示、訂正等、利用停止等について、請求に応じられない場合にはその理由の説明